

MCR54 クイックガイド



レシーバー (スロットインタイプ)
: MCR54-B3



トランスミッター
MTP60-JP



レシーバー (MCR54-B3)の導入

電源 (ベース・オプション)

ベースオプションの SLK54-IK (D-sub25) か BPA54 (4-pin ヒロセ) から電源供給できるほか、MCR54 本体の USB-C コネクタからも給電できます。



電源 (バッテリーオプション)

オプションの BPA54 をベース・オプションとして取付ければ、スマートバッテリー (RRC2040 リチウムイオン充電電池) で運用することもできます。



▶ パワーインジケータ

ON LED の点灯時の色で電源ステータスを把握できます。緑色は外部電源を利用しており、外部電源電圧が低くなると緑色が点滅します。淡い緑色はバッテリーを利用しています。バッテリー電圧が低いと淡い緑色が点滅し、極端に電圧が低下すると赤色で点滅します。(画面のバッテリーはトランスミッターの電池です。)

▶ 電源投入とシャットダウン

【POW/EXIT】 ボタンを長押しすると電源が入ります。
【POW/EXIT】 ボタンを3秒以上押し続けると画面でカウントダウンが始まり、最後にシャットダウンします。



▶ レシーバステータス LED

受信アクティブの時、ブルー (Ant-A) かグリーン (Ant-B) で点灯します。

レッドはスケルチより RF レベルが低い
かノイズスケルチが ON の状態です。
消灯時はレシーバー電源がオフです。

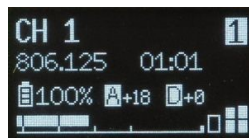


Menu 操作

- 【MENU/SEL】 ボタンを押すと Menu 設定に入り、Menu 画面から戻るには、
- 【PWR/EXIT】 ボタンを押します。選択したオプションを決定するには、
- 【MENU/SEL】 ボタンを押してください。



トップ画面で【SYNC】を押すと各チャンネルをクローズアップして表示します。
周波数、GR:CH、バッテリー残量、オーディオレベルを確認できます。



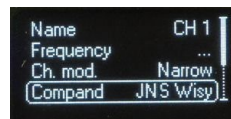
▶ レシーバチャンネルの On/Off

Menu → Setup → Active Rxs で各レシーバチャンネルにチェックマークを入れて電源を On にすることができます。



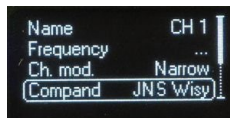
▶ チャンネル・モジュレーション

チャンネル・モジュレーションは、“Wide” と “Narrow” を選べます。B 帯運用時は必ず “Narrow” に設定してください。メニューから Setup → Edit RX1 → Ch. Mod. で確認できます。“Wide” に設定すると、隣接する周波数と混信しやすくなります。



▶ コンパンダー

MCR54のエクスパンダー設定は“JNS Wis”を推奨しています。設定を確認するには、メインメニューから Setup → Edit RX1 → Compand に入ってください。



‘comp/mod mismatch’ のメッセージが表示された場合は、Ch.mod が Narrow になっているか、Compand が JNS Wisy になっているか、を確認してください。

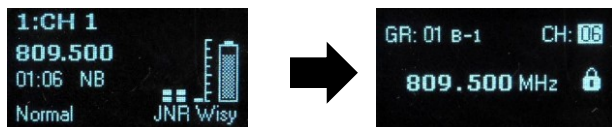


周波数の設定

任意の運用周波数（806MHz～810MHz）で、トランスミッターとレシーバーを同じ周波数に設定してください。

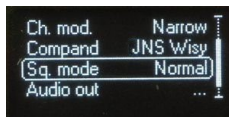
▶ 周波数の合わせ方

1. トップ画面から【SCAN ▼】を数回押して、RX1（またはRX2,3,4）の画面を表示させます。
2. 【MENU/SEL】を押すと、周波数設定画面に入ります。CHとGRでカーソルを点滅状態にすると数値を変更できます。
3. 【MENU/SEL】を押して設定を確定します。



▶ スケルチ設定

スケルチの設定オプションは、“Normal” “Long Range” “User” の3つあり、推奨設定は“Normal”です。“Long Range” にしないとオーディオ信号が来ない場合は、受信電波状況の改善が必要です。



オーディオ出力の設定

▶ 出カタイプ



Menu → Setup → Adv. audio でオーディオ出力を設定できます。設定で“MAIN”はオプションコネクタ（BPA54/SLK54-IK）を意味します。“AUX”はフロントパネルの TA-5 コネクタを意味します。

参考例：

■ BPA54 でデジタル信号出力



■ BPA54 でアナログ信号出力



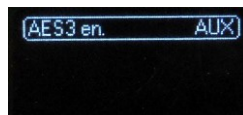
■ RX1 の 3 分配出力も可能



※補足

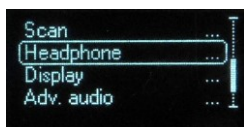
AES3en を“AUX” に設定すると、フロントパネルにデジタル信号が出力されます。メニューオプションの下段にあった AUX1、AUX2 はメニューから消えます。

■ フロントパネルにデジタル出力



▶ ヘッドフォン出力

フロントパネルにある 3.5mm ミニジャックにヘッドフォンプラグを挿入して、RX1～4 のうちの 1 系統をモニターすることができます。



赤外線シンク

赤外線通信により、レシーバーで設定した周波数とコンパウンダー設定をトランスミッターに同期させることができます。

1) トランスミッターの準備

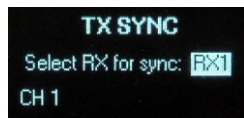
MTP60 の赤外線通信ポートは、ディスプレイのすぐ上にあります。MTP60 を赤外線受信モードにするには、**MENU > IrDA** と操作して 'IR active...' と表示させてください。

赤外線受光部 ↓



2) レシーバーの準備

MCR54 【SYNC】 ボタンを長押ししてシンク設定画面に入ります。 Select RX for sync: RX1 が点滅するので、同期させたいレシーバー番号に設定し、【MENU/SEL】 ボタンを押すと 30 秒間だけ SYNC モードに入ります。



3) シンクさせるには。

赤外線通信の受光部が向かい合うように、ユニット双方の向きと位置を調整してください。

通信中にコンパウンダーやモジュレーションの設定変更を MCR54 画面で尋ねられた場合、

Change
Componder to
*** Wisy

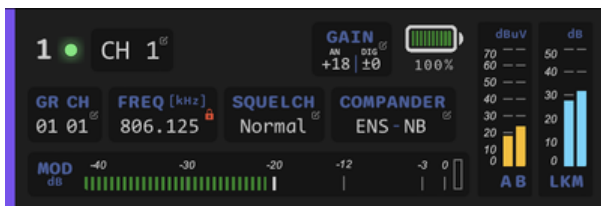
変更を承認するために【MENU/SEL】 ボタンを押したときに、両者の赤外線受光部が向き合っていないと通信エラーを起こすことに留意してください。



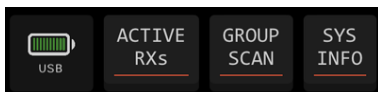
Bluetooth 通信 'Wisycom BT'

Android や iOS のモバイルデバイスにて Bluetooth で接続して MTP60 や MCR54 をリモートコントロールできます。

▶ チャンネル情報



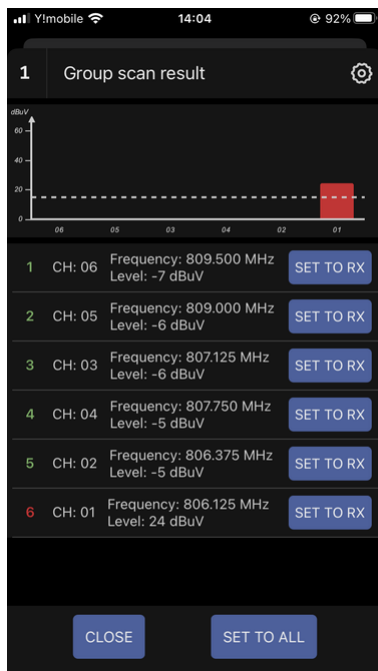
▶ グループスキャン



[GROUP SCAN] にタッチすると受信電波環境をスキャンして空きチャンネルをすばやく見つけてチャンネルヘアサインできます。

スキャン結果は上から順に電波状況の優れた空きチャンネルです。

[SET TO RX] にタッチすると、MCR54 の好みのレシーバーCH へヘアサインすることができます。





日本テックトラスト株式会社

営業所

〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13 ONEST 元代々木スクエア 1 階
E-MAIL : sales@tech-trust.co.jp URL : <http://www.tech-trust.co.jp>